

第2学年B組 英語科授業案

2 B 教室

授業者 天野 万喜男

1 単元 English in Japan (Differences)

2 単元の構想

(1) 本単元で成長する子どもの姿

Globishに出会った子どもは、世界の公用語とも言える英語をいかに学ぶかを追究する魅力を見つける。Globishの有効性や各国の英語の学び方を調査し、世界における日本の役割を考え、英語を学ぶ目的に目を向けた子どもは、言語を道具あるいは文化として追究する魅力を見つけ出す。子どもは、英語習得の意義を再確認し、国際人として生きる魅力を見つけ出す。

(2) 英語科としての学び

子どもは、これまでの学習において、世界に誇るべき和食や「もったいない」という日本語のすばらしさに気づいた。日本人の観点からだけではなく、外国人から見た日本のすばらしさにも気づいた子どもは、改めて日本の文化を大切にする思いを育んだ。ところが、いざ外国人を目の前にしたり、意見交流の場面になったりすると、思ったように英語を話せないことから自信をなくしてしまい、英語を学ぶ目的を見失い、学習に消極的になってしまふことがあった。

本単元では、Globishを教材として取り扱い、日本における英語について考える。世界の英語学習の様子や、日本の世界における役割などを調べ、世界の公用語として扱われる英語にどう取り組んでいくか追究を進める。外国人への聞き取りや意見交流の場面においては、相手の意見に対し即座に反応するNegotiation Competenceを獲得し、長く対話を続けられるようとする。外国と日本の英語に対する考え方の相違や、英語とGlobishの相違を表したい場面が出てくる。そこで、Grammatical competenceとして、比較級や最上級といった比較表現を身につけていく。

昨年12月、文部科学省から、2020年からの小学校3年生からの英語導入、英語で行う英語の授業を始める中学校の取り組みといった英語教育改革の指針が発表された。英語を公用語化する企業が出ており、日本における英語習得の意義は新たな段階へと移ろうとしている。このような現状をふまえ、英語を簡略化し伝達のみを目的としたGlobishについて考えさせることを通して、子どもが日本における英語について見つめ直す機会とする。日本人である私たちが外国語として英語を学ぶことは、單に人と人とを結ぶ言語を身につけることだけではない。言語の背景にある文化を考えたり、国際社会における生き方を考えたりすることが重要な要素となる。本単元をとおして、意欲的に英語を身につけ、国際人として活躍しようとする姿勢を育みたい。

(3) 子どもが「学んだこと」を見つけ出すための教師の営み

PROSPECTの段階では、ネリエールが、英語を母国語としない者が、国際ビジネスに適応するための共通語として提唱した、Globishに出会わせる。はたしてGlobishは有効なのか、世界の英語事情はどうなっているのかを知りたいと思い、子どもは世界の公用語である英語をいかに学ぶかを追究する魅力を見つけ出す。

PROGRESSの段階では、ALTや言語学校の生徒など、ネイティブ、非ネイティブからさまざまな国の英語に対する考え方を知ることができるようとする。聞き取りを終え、日本人の英語学習の目的について考え始めた子どもに、イギリスBBCが調査している、世界で最もよい影響を与えていたる国ランクインで、日本が常に上位であることを伝える。さらに、英語教育の専門家である大学教授の、世界における日本の位置が変わりつつあるという話を聞かせる。子どもは、国際化が進む現代社会において、道具としての言語、文化的背景をもった言語、双方を大切にする魅力を見つけ出す。

PROCEEDの段階では、子どもは英語習得の意義を再確認し、日本人として英語を身につけ、国際人として生きていく魅力に気づく。そして、身につけたGlobishを使ってALTや言語学校の生徒に話したり、Globishの考え方を広めたりする。また、国際社会で活躍しようと積極的に英語に取り組む。

5 単元構想表 (12時間完了)

【第10時完了時】

段階	主なはたらきかけ	思い・考え	「学んだこと」	子どもの行動	英語科で重視する力	
P R O S P E C T	<p>①Learning English is ...に続く言葉を考えさせる ②昨年末文部科学省から発表された2020年からの英語教育改革について伝える ③Globishの考え方を紹介する ④意見交流をIs learning English important?をテーマに行う</p>	<p>日本には世界に誇れる文化や言葉がある</p>	<p>英語は難しい。どうして勉強しなければいけないのだろうか</p>		<p>☆Solving competence どんなふうに英語と向き合っていったらよいか、答えを出すまでの見通しをもつ</p>	
P R O G R E S S	<p>⑤Globishの有効性や英語を学ぶ意義について非ネイティブ、ネイティブそれぞれから聞き取る場を設定する ⑥日本の英語教育にALTEとして長く関わってきたSimon先生の考え方を聞かせる ⑦BBCの調査「世界に最も良い影響を与える国ランキンギ」で、常に日本が上位であるデータを示す ⑧英語教育の専門家である大学教授の世界における日本の位置の変化についての話を聞かせる ⑨意見交流をIs Globish useful?をテーマに行う</p>	<p>Globishを学べば、英語が使えるようになるかもしれない 1~3時</p>	<p>Glibishを身につけ、たくさんの国の人と会話したい</p>	<p>外国では英語はどういうふうにとらえられているのだろうか</p>	<p>Globishを身につけるだけで本当にいいのか</p>	<p>☆Grammatical competence 外国との比較を文章にするために、比較級や最上級などの比較の表現を獲得しようと、EBの作成に取りかかる</p>
P R O C E D	<p>⑩フランス人の英語に対する考え方を紹介する ⑪Globishの考え方を改めて知らせる ⑫英語教育に目を向けた子どもとの意見を取り上げる ⑬これまでの学びを振り返りながら単元まとめを書かせる</p>	<p>世界各国ではどのように英語に取り組んでいるのか知りたい 世界各国の英語に対する考え方やあり方について調べる 4~9時</p>	<p>Globishが1500語では語彙数が少ないという意見はもっともだ</p>	<p>ネイティブ・非ネイティブそれぞれの考え方を知りたい</p>	<p>Globishは英語の一部だ。まずここから始めるべきだ</p>	<p>☆Negotiation competence EBで身についた表現を使い、外国人への聞き取りや、意見交流で、英語で反論や切り返しができるようにする</p>
		<p>Globishを世界中の人に結ぶ言語として身につけたい。そして、言語のもつ文化的背景を大切にしていきたい Globishを熱心に身につけたり、英語習得の意義をまとめたりする 10~12時 (本時11)</p>	<p>日常会話でも仕事でももっと語彙を増やすないと伝わらない</p>	<p>必要感に迫られ英語を学ぶ国がある。日本はどうだろう</p>	<p>Globishをもとにして身につける英語を増やせばよい</p>	<p>☆Solving competence 会話の中で必要な言葉を拾い、メモをして自分の考えに活かすことができる</p>
			<p>国際社会で注目される日本人は英語を使えるようすべきだ</p>	<p>旅行、仕事、仲間などさまざまな目的がある</p>	<p>使う人や場所によってGlobishを改良していくべきだ</p>	
			<p>大切なことは国際社会の中で自分の考えや意見をもつことだ</p>	<p>道具としての英語、文化的背景をもった英語の2面がある</p>	<p>Globishを世界へ広げ、多くの国の人と話したい</p>	
		<p>Globishの次の個人の夢に従ってレベルを決めればよい</p>	<p>Globishを世界中の人に繋ぐ言葉として広めたい</p>	<p>Globishは中学校程度の英語だ。最低限として身につけたい</p>		
		<p>日本に来た外国の方にも日本を説明できるようにしたい</p>	<p>お互いの国や文化を尊重する姿勢も大切にしたい</p>	<p>1500語では足りないから、必要なものを挙げ増やしたい</p>		
		<p>これからも国際人たるべく英語を身に付けていきたい Globishを活用して話したり、Globishを広めたりする</p>				
		<p>日本人である自分たちは英語を身につけ、世界で活躍できるようになりたい</p>	<p>身につけたGlobishを使って話したり、Globishの考え方を伝えたりしたい</p>			

4 本時の構想 (11/12)

Globishに出会った子どもは、その有効性についての意見交流をとおして、いかに英語を学ぶかを追究する魅力を見つけ出した。そして、母語として英語を学ぶネイティブ、世界で英語を学ぶ非ネイティブ、それぞれの立場から、Globishの有効性や各国の英語のとらえ方、あり方について聞き取りをした。多様な考え方による子どもの立場から見た日本の現状を知らせた。子どもは、世界における日本の役割を考えることをとおして、日本人が英語を学ぶ目的を見つめ直し、道具としての英語、あるいは文化的背景をもった言語を大切にする魅力を見つけ出した。

本時は、第9時の意見交流で [REDACTED] が記した “a) Globish is a basic when nonnatives learn English. So, I agree that we make b) Globish a minimum to learn English in Japan. Later, we can choose the English level. It c) depends on our dream.” という考えに対する意見を出し合う。これは、a) Globishの有効性、b) 日本の英語教育、そしてc) 個人の夢（目標）というキーワードをもっており、単元のまとめとして、これまでの学びを振り返って意見をまとめるのに適していると考えたからである。また、とっさに英語で考えをまとめ上げることは中学2年生には難しので、予め意見はまとめさせておく。授業の入りは、単に [REDACTED] の考えに賛成や反対の立場の意見を取り上げる。そして、どんなときにGlobishが有効であるのか、または有効でないのかをはっきりさせることで、Globishそして英語を学ぶ本質に迫る。

はたらきかけ	思い・考え	「学んだこと」	子どもの行動
<p>①これから日本の英語教育に目を向けた [REDACTED] の考えを取り上げる … [REDACTED] e)</p> <p>② [REDACTED] の「日本人は発音や文法の正しさを気にするあまり英語を話せないので有名である」という考えを取り上げる</p>	<p>Globishを世界中の人を結ぶ言語として身につけたい。そして、言語のもつ文化的背景を大切にしていきたい</p> <p>Globishを熱心に身につけたり、英語習得の意義をまとめたりする</p>	<p>① “What do you think about TH's opinion?” <Agreement> <Disagreement></p> <p>Globish is as the same level as junior high. First, we learn it and next, choose the level.</p> <p>If we can use Globish, many foreign people will want to come and live.</p> <p>Globish is the first step to learn speaking English. Stepping up depends on our dream like business, studying abroad, hobby, trip, and so on.</p> <p>② It's famous that Japanese can't speak English. We mind whether our pronunciation and grammars are correct or not.</p> <p>Globish can get rid of resistance to speak English. Speaking English becomes interesting by Globish.</p> <p>If people in the world learn Globish, everyone can communicate easily. It's our wish.</p> <p>これからも国際人たるべく英語を身につけていきたい</p> <p>Globishを活用して話したり、Globishを広めたりする</p>	<p>Choosing the English level is not good. We must study the same level. I disagree with this idea.</p> <p>If we can only use Globish, we can't do foreign works. People who need high level may learn it.</p>